

第327回定例症例検討会

日時：平成28年1月23日（土）

場所：ホテルナクアシティ弘前3階
「サファイア」

開会の辞



弘前大学大学院医学研究科
消化器外科学講座 教授
袴田 健一 先生

教室手術集計報告



教室会長 石戸圭之輔 先生

一般演題 1

演者



むつ総合病院 外科
梅村 孝太郎 先生

大館市立総合病院 外科
内田 知顕 先生

黒石市国民健康保険
黒石病院 外科
島田 拓 先生

座長

青森県立中央病院
がん診療センター 外科
堤 伸二 先生



一般演題 2

演者



演

青森県立中央病院
がん診療センター 外科
鶴田 覚 先生



演

青森市民病院 外科
渡邊 伸和 先生



演

青森県立中央病院
がん診療センター 外科
岩間 正浩 先生

胃癌術後補助化学療法は、capecitabine, oxaliplatinが承認され、治療選択肢の幅が広がった。しかし、複数ある選択肢から最も適切な治療を選択することの困難さを感じる。補助化学療法を有効な治療とするためには、患者の管理が重要な因子である。有効性のみならず、予後や治療に伴うQOLについて適切な情報を提示し、最適な治療を選択していきたい。

座長

むつ総合病院 外科
長谷部 達也 先生



一般演題3

演者



演

市立函館病院
消化器外科
澤野 武行 先生



演

山形県立河北病院 外科
山名 大輔 先生



演者

青森厚生病院 外科
中山 義人 先生

座長

弘前市立病院 外科
久保 寛仁 先生



一般演題 4

演者

座長

演

函館渡辺病院 外科
吉川 徹 先生

演

市立秋田総合病院 外科
高橋 研太郎 先生

年度 症例検討会
定例 症例検討会



青森市民病院 外科
櫻庭 伸悟 先生

演

早川内科肛門科
早川 一博 先生

演

青森市民病院 外科
遠藤 正章 先生

提示し、最適な治療を選択していきたい

特別講演 「最近の胃癌化学療法の話題」

演者

司会



演

弘前大学大学院医学研究科
消化器外科学講座
赤坂 治枝 先生



弘前大学大学院医学研究科
消化器外科学講座
和嶋 直紀 先生

討論の風景



結語

cap
なが
適切な
のとす
の治
な情報を提示し、最適な治療を選択していきたい。



懇親会の風景



懇親会の風景

